

# SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう

☆3月19日防災訓練を行いました☆



## 目次

☆三月の出来事	2
☆防災訓練の感想	2・3
☆新メンバー紹介	4
☆夕会報告	4・5
☆クラブ活動報告	5・6
☆風〇〇サスペンス劇場（田中連載） 最終回	7
☆バリアフリーよもやま話（岡本連載） 第81回「A」	8・9
☆柳さんの料理コーナー	9
☆有難うデストロイヤーさん	10
☆メンバーのつぶやき	11・12
☆リサイクル品募集	13
☆外でよ延期のお知らせ	14
☆ボランティア募集	15
☆所長のため息	16



2019年 4月号

## 三月の出来事

普連土学園の女子高生三名が、三月十二日（火）に実習をしに来ました。食事の介助や工房の作業の手伝いをし、アームバンド作りや和紙ハガキ作りの体験をし、一日の感想として「とても良



い勉強になりました」ということを言ってくれました。そして、三月十九日（火）の午後、防災訓練を行いました。今回は、歩けるメンバーに非常階段で5階から1階まで下がる訓練をしたり、お風呂用布タンカで車イスのメンバーの数名を運ぶ訓練をしました。そして、避難用のヘルメットを全員でかぶり、全員の名前を書きました。防災訓練の反省として「非常階段に障害物があり、歩きにくかった」や「お風呂用布タンカは使いにくい」などの意見が出ました。次回は防災センターへ行き、地震体験機械で色々体験をしてきます。



これが、タンカ！！小野田さんを運んでいます

田中 聡



## 防災訓練



### 消防訓練かんそう記

かいだんおりるときはきつかったけれど、上にあがるときはエレベーターであがったけれど、別に問題はありません。ひざがつかれるていどで問題はありませんでした。

矢島 邦章



## 春の防災訓練

風の子会で消防くんれんがありました。やったのは3つです。最初にみんなで防災ヘルメットをかぶりました。ヘルメットに名前を書きました。小野田さんの頭にはヘルメットは入りませんでした。2つ目は歩ける人は5階の階段から1階まで降りて

ました。3つ目は防災タンカーです。タンカーに乗ったのは5名です。小野塚さん、広瀬さん、小野田さん、掛橋さん、柳川でした。

職員の岡本さんと秋葉さんが小野塚さんを防災タンカーに乗せて運びました。広瀬さんと小野田さんも成功しました。私も軽いので〇でした。河原さんと井出さんがかけはしさんをタンカーに乗せて上がりました。

柳川 敬事

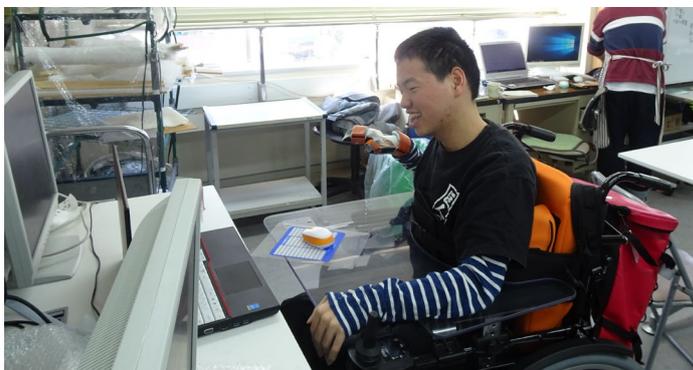


ヘルメット装着オッケー！

訓練がんばるぜ！



## 新メンバー紹介



今年から風の子会に入りました。僕の名前は島田竜司です。よろしくおねがいします。僕の好きなスポーツは野球です。僕の好きな野球チームは巨人です。好きな選手は菅野と小林と尚樹と坂本と義弘と岡本を応援、頑張っ

てほしいです。僕の好きなアーティストは嵐の櫻井翔が好きです。僕の好きなアニメはポケットモンスターとデュエルマスターズと遊戯王とワンピースとゲゲゲの鬼太郎もよく見えます。風の子会でがんばりたいことパソコンを打つこと頑張りたいです。

島田竜司



## 夕会報告

3月2日の夕会では花見と外に出ようとうたとおどりについて話し合った。花見については、日程の再確認と当日の具体的な行程について話し合った。日程は4月2日で変更なし、スカイツリーで昼食を、ということとなった。下見に行くメンバーを募ったところ、小野塚が手を挙げた。外に出ようは、感想をどうするかについて話し合った。従来の俳句はハードルが高いという意見を受けて、感想でも良いということになった。加えて集合場所と出発時間についても話し合った。続いてうたとおどりについて話し合った。昨年同様に演目等の参加はせず、詩の投稿のみにすると決まった。

3月9日の夕会は和紙制作班より、他作業所の和紙制作現場の視察に行った際の報告があった。視察に訪れた場所は、ふれあい作業所という場所とのこと。ここでは壁に貼った青いプラ版に和紙を貼り、乾燥させているとのこと。更に和紙ハガキが波打たないようにするため、乾燥した和紙をラミネートマシンを使って伸ばしているとのこと。和紙をすく際は、直接原料の入った



和紙をはっているところ

箱の中ですくのではなく、原料の入った箱からコップで原液をすくい別の箱のうえですくため、原液がいつまでも薄くなりにくいとのこと。なおここでは一日70枚の和紙を制作しているとのこと。その和紙を使って染め物をしているという話も出た。

3月16日の夕会は、防災訓練とおでかけについて話し合った。3月19日に予定している防災訓練の事前確認を行った。メンバー一人一人のヘルメットのフィッティング作業、メンバーが階段を使って降りるとどのようなリスクがあるか、担架を使ってみる、などを行うことになった。4月の花見の次は、いつ、どこに行くかについて話し合った。いくつかの案が挙がり、学食探訪か防災センターの2案に絞られた。時期は6月に決まった。

3月23日の夕会では工房班より、和紙製作の現場視察に行った際の報告があった。今回の現場は原料を煮込む際にハイターなどの洗剤を入れるそうだ。目的は消臭・カビ防止などであるとの事。完成した和紙は、全体的につるつるした質感の紙に出来上がるようだ。ここでは、午前と午後の分業制になっていて一日30枚製作するらしい。完成した品は、その日の出来栄えによってハガキにしたり違う品物にしたりする。つまり和紙はハガキを作るという目的ではなく、意図せず製作をはじめ完成次第によって何にするか決めるとの事。

小野塚 航



## クラブ活動報告



### 料理部です

水餃子じゃないよ！  
小籠包だよ！



餃子と、小籠包を作りました。  
まずは私は、餃子のかわの上にタネをのせる作業と水を手につけ、かわにつける作業をしました。  
完成した料理を食べました。パリパリしてて美味しかったです。

廣瀬 依生

# クラブ活動報告

## ぶらり部です

※今回ぶらり部は、隅田公園にお花見に行ってまいりました。※  
隅田公園に行ったすいでる。満員桜を観て寒かった。また参加をしたい。

松本恵司



## 麻雀部です

三月三十日(土)風の子麻雀大会で、ビリになってしまいました。僕は負けても二  
位くらい、ところがこの日は上がるだけでも四苦八苦。ああいうこともあるん  
だなと反省させられました。

太田稔

※今回麻雀部の写真を撮り忘れてしまいました※

## 風〇〇サスペンス劇場

もちろん真っ赤な大ウソで、〇〇・〇〇〇とは、T君の学校の後輩で、仕事やプライベートの相談をされていて、Aさんも飲み友達で仲の良い友人だった。だから、株の話はしたことは全然無く、茶飲み友達のような関係で、楽しい未来の話ばかりしている三人だった。その話をまじめに聞いたYさんは、次の悪い犯罪を考えた。それは、Yさんの友人の〇〇〇〇@〇〇〇と凶暴をして、〇〇〇の会社へ行き、ベテランOL：カワハラを人質にとった。だが次の瞬間、待ちかまえていたAさんとT君とマツモト・ケイジ率いる十五人の警察官が、二人を取り押さえた。〇〇〇〇@〇〇〇は無実が証明されているので、逮捕はしなかった。Yさんは逮捕をして、身柄を警視庁・港南署へ送られた。そして、取り調べが行われた。取り調べには素直に應じなかった。百五十回ほど逃亡を繰り返した。その逃亡をしている間にも、若い女性へのイタズラや住居侵入などを繰り返した。そんなことをやっている、罪が重くなることをYさんは知らない。そして、タカコの死から三年三ヶ月十八日の時がすぎ、ようやくスマイルキャブ裁判所にて、裁判が始まった。ドーモキャブ弁護士、よしこキャブ検事、裁判長のスバルキャブ四郎のもとで行われ、懲役・6909年の判決となった。こうして、事件は解決をした。ようやく、AさんとT君が勤めている実習所に、平和が戻った。実習所の雰囲気も変わり、新人職員『プレイボーイ・キムラ』が加わり、これから益々良くなっていくであろう……………。ちなみに、T君は美人ナース『MI

Ka』と結婚をして、子宝に恵まれ『風太郎』と『風子』と『風三郎』の三人の子供と一緒に、楽しく暮らしましたとさ。

SATOSHI・TANAKA



終

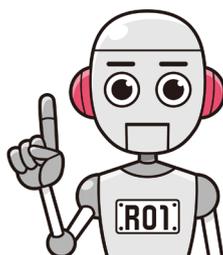
今まで読んでくれ  
てありがとう！！

## バリアフリーよもやま話

第81回 「AI」

ボランティア・風の子会運営委員 岡本 明

近頃、新聞やテレビなどでAI（アーティフィシャル・インテリジェンス＝人工知能）という言葉が頻繁に出てきます。人工知能はコンピュータのプログラムの一種ですが、普通のプログラムと違うのは、コンピュータに学習、推論、判断など、人間の知能に似たことをやらせようというところです。コンピュー



タはたくさんのことを高速に処理できますが、プログラムされた（教えられた）以外のことを処理することはできません。一方、人工知能は具体的に教えられていないことでも推論して答えを出します。たとえば、犬は「ワン」と鳴くと教えられていて、見たこともない小さな動物が「ワン」と鳴くのを聞くと、その動物は犬だろうな、と考えるのです。

最近ではガン（がん）の早期発見などにAI技術が応用されています。人間のお医者様ではとても見られないほど多くのガンの画像を覚えていて、ある患者の写真を見せると、考え、ガンを発見します。

介護ロボットにもAI技術を応用しようという研究も進められています。会話ができるロボットもその一つです。ただ機械的に介護するのではなく、「どこが痛いですか」など聞いてくれたり、さりげない世間話をしてくれたり、いろいろ期待は広がります。しかし人の会話というのは複雑で、相手の言ったことを的確に理解して返事を返すのは人間同士でもなかなか難しいですね。「暑いね」と言われたら、「窓を開けてほしい」という意味かも知れません。コンピュータは「今日は30度もあるので、暑いのです」と答えるのが精一杯でしょう。

1960年代、AIの研究の初期のころ、アメリカである会話ソフトが開発されました（会話といっても、当時はまだ使える音声認識技術はなく、パソコンのキーボードでのやり取りでした。今でいうチャットです）。「イライザ」という名のこのソフトはかなり「知的に見える」会話をすることができ、実際にだまされた例も報告されています。

ある会社の部長が外出先から、会社にいる部下とチャットを始めました。彼は部下がそこにいるものと思っていたのですが、部下はチャットをイライザに任せて昼寝をしていたのです。

9ページへ続く

## 8 ページからの続き

部長：「明日、コンピュータを使ってもいいか」  
イライザ：「どうしてそんなことを聞くんですか」  
部長：「A社に新製品の売込みができるかも知れないんだ」  
イライザ：「どうしてそんなに確信が持てないのですか」  
部長：「その客がまだ新製品を見てないんだ。」  
イライザ：「それはあなたにとって、とても意味のあることですか」  
部長：「もちろん、そうだ。」  
イライザ：「とってもやる気みたいですね」  
部長：「何を言ってるんだ」  
イライザ：「何を言ってるんだ、とはどう言う意味ですか」・・・

部長は部下がからかっていると思って、電話で呼び出して怒鳴りつけました。誤解が解けるまでにはとても時間がかかったそうです。

イライザは言葉を理解するわけではなく、ただ単にありそうなパターンを見つけ、簡単な推論をして、適当な反応を選び出すようにプログラムされているのです。こういうソフトは人工知能の一種ではありますが、「人工無能」といわれます。無能とはあんまりですが、立派なプログラムであり、人工知能の発展に重要な位置づけもあるので、一種の親しみを込めてそう呼ばれているのです。iPhoneなどで人気がある音声 AI アシスタントの Siri というソフトはイライザの発展形ですが、これも人工無能でしょう。人工無能はゲームなどにもいくつか使われています。

さて、あれほど危険性が指摘され、注意書きが貼られたりしているのにいっように減らない「歩きスマホ」。多くはゲームに没頭しているようです。人工無能のゲームにここまで侵されてくると、人間はどんどん無能になるのではないのでしょうか。



## 「柳さんのクッキングコーナー。」

- ①、食パンを四角に切ってオーブンで2分焼き、トーストにします。電子レンジで市販のレトルトカレーを1分温めます。その1、トーストをレトルトカレーにつけて食べます。その2、トーストにカレーを塗ってオーブンで1分焼き、焼き色がついたら出来上がりです。
- ②、ナポリライス。作り方、タマネギとニンジンの皮をむき、ピーマン、ベーコン、大きめに切って、フライパンに材料を入れ3分炒めます。塩とコショウをして、ケチャップを入れて1分炒めます。ごはんのうえにかけて出来上がりです。

柳川 敬事

## 懐かしの写真アルバム

### ありがとう デストロイヤーさん

さる3月7日にプロレスラーのデストロイヤーさんがお亡くなりになりました。デストロイヤーさんは生前、風の子会にご寄付を届けに来てくれました。今回はデストロイヤーさんが風の子に来訪した時の記事（2005年8・9月合併号）を下記に載せます。今回はメンバーであった故佐久間庸さんの記事も載っています。

田中 聡



時代に残したプロレスラーのデストロイヤーさんが、麻布十番祭りで開かれたチャリティーサイン会で集められたご寄付をわざわざ高浜実習所まで届けに来てくれた。プロレスラーを身近に見たのは初めてで、ガッチリした体型にお馴染みの白いマスクを被ったの登場だった。サインや写真撮影にも快く応えてくださり、とてもフレンドリーだった。

ひとりぼっちの障害者  
をなくそう！  
デストロイヤーさん

た。リング上での厳しい表情とは対照的に白いマスクの内側からは優しい目が輝いていた。

佐久間 庸

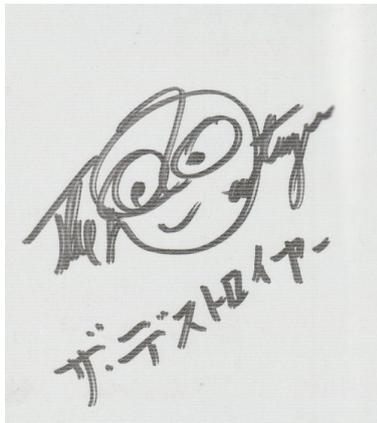
毎年行われている麻布十番祭りで、元プロレスラーのザ・

デストロイヤーさんがチャリティーサイン会を行っていきます。そのサイン会で得た収益金（ザ・デストロイヤー基金）を、今年風の子会に御寄附して下さることになりました。八月二十二日にデストロイヤーさんが直に高浜実習所に来て下さり、募金して下さいました。それで実習所代表として僕が授かりました。

更に、デストロイヤーさん著の本や、色紙にサインを書いていたいただきました。嬉しかったです。大切にしています。

田村 亮彦

ひとりぼっちの障害者をなくそう！



**必見！**  
こちらはデストロイヤーさんの著書に書いていただいた直筆サインです。



## メンバーのつぶやき

### 松ちゃんのちょっと一言

倉本康子は観た  
田中君におんな酒場観たの  
寺澤ひとみ  
吉田類 恵司



### 柳さんの大好きなこと

私の名前は柳川敬事です。障害者です。好きな季節は冬です。誕生日は昭和54年12月8日です。料理が大好きです。丼物が大好きです。テレビの特撮物が大好きです。女優の松下奈緒さんが大好きです。家にはカレンダーと写真集があります。カケ飯『中華あんかけをごはんにかけて。』が大好きです。パソコンが大好きです。

柳川敬事。





## 異常気象と大好きな桜

この冬は平年より雪も少なく暖かくなり、春の訪れが早くなると予想していました。しかし、3月下旬になっても最高気温が10度前後しか上がり肌寒い日が続き、桜がなかなか満開にならない所もありました。私は花の中でも桜が好きです。鮮やかなピンク色で心が癒さ

れます。私の家の近くで平成最後の花見をして来ました。  
1週間以上も咲いていて、とてもキレイでした。

YUKI

## 久しぶりのつづやき

喘息、アトピー、癌等の免疫系疾患が増えているとよく耳にします。免疫力の低下が疑われています。他には、脳神経系疾患・血液循環系疾患。そんな人にお勧めなのがクラシック、中でもモーツァルトの曲です。モーツァルトは、人間（動物）の波長に合っていてストレス・過労など自立神経のバランスを調える大きな健康効果をもつらしいです。本によると朝・晩30分ヘッドフォンをつけて聴き続けると早ければ10分ほどで症状が緩和されるそうです。気になる方は試してみるといいです。ある農家では、「牛に聴かせて肉質を柔らかくなるから」とニュースで聞いたことがあります。



97年 12月29日 自主活動 海ほたる編 冬

三木直人

## 区民祭りで販売するリサイクル品大募集！！

風の子会は今年も区民祭りに参加します。そこで、販売するためのリサイクル品を募集したいと思います。今年は夕会での話し合いの結果、古本を販売しようということになりました。風の子会のみんなで精一杯販売しますので、よろしくお願いします。

- 今回は古本のための募集となります。
- 古本は、文庫本に限ります。コミックや大判の本はご遠慮下さい。
- 著しい汚れや破損がある場合は、引き取ることはできませんので、ご了承ください。
- 港区在住の方はこちらから取りに伺います。（時間は応相談）
- 港区外の方は、献品を送ってください。  
※送料は申し訳ございませんが、自己負担でお願い致します。

送り先：特定非営利活動法人風の子会  
〒108-0022 東京都港区海岸3-3-18 芝浦日新ビル5階

詳しいことを確認したい方はお電話下さい。  
風の子会の電話番号は03-6809-4001です。  
担当：平沼 実華



昨年の区民祭り（みんなの広場部会）の様子

頑張って今年も盛り上げるのでよろしくお願いします。



# 『外に出よう』延期

5月25日（土）に開催を予定していました「外に出よう」ですが、ボランティアの呼びかけに時間が足りないこと、そして準備不足の為に、外に出ようを延期させていただきます。参加を予定して下さっていた方には大変申し訳ございません。

外に出ようの日程が決まり次第、また会報にて皆様にお知らせいたします。

外に出よう実行委員  
小野田・小野塚・田中・岡本

## ボランティア募集

- ① 昼食の介助・トイレの介助 （11時30分～4時00分）
- ② 作業の手伝い・作業の工夫の相談

行事の予定は以下の通りです。お手伝いいただける方は、  
TEL03-6809-4001 風の子会までご連絡下さい！！

### ●今後の行事予定

#### 6月11日（火） 本所防災センター見学（墨田区）

内容：本庄防災館にて防災体験ツアーに参加します。防災体験ツアーの内容はシアターを見た後に地震体験・煙体験・暴風雨体験をグループに分かれて体験します。時間は、ツアー時間は約1時間50分ぐらいです。車いすでも参加できるので、車いすを押してくれる方を募集しています。

皆さんの空いた時間で良いので、ご協力をよろしくお願いしま～  
す！！！！



お花見や・・・



料理教室などのその他  
イベントや、日常の活動など  
一緒にお手伝いください！！

# 所長のため息

この号が出るころにはもう令和の時代になっています。元号が平成から令和に変わり、心機一転がんばろうという方も多いのではないのでしょうか？私もその一人ですが（でも三日坊主で終わってしまうのですが．．．）。

風の子会では4月に入り新しいメンバーも入りました。今年支援学校を卒業し、風の子では企画に所属し、会報制作に携わっています。これから若いからこそできる何かを風の子会で発揮してくれたらと思っています。

そして、懸案事項であった運転パートの職員さんもようやく決まりました。また長年にわたって風の子会を支えてくれた保健師の岸田さんの後釜として、新しい看護師さんも来てくれました。ようやく体制が整ってきたので令和の時代は色々チャレンジしてみたいと思っています。

これからも「ひとりぼっちの障害者をなくそう」を合言葉に、みんなで力をあわせて、令和の時代を駆け抜けていきたいと思います。読者の皆様、これからも風の子会をよろしくお願いします。

風の子会所長 岡本裕介

## ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

### 企画編集メンバー

太田 圭子	幸 高史
太田 稔	和栗頭太郎
小野塚 航	柳川 敬事
田中 聡	三木 直人
塚田 愛基	松本 恵司
信高 正義	島田 竜司

編集人：【高浜生活実習所】生活介護、就労継続支援B型  
〒108-0022

東京都港区海岸3-3-18 芝浦日新ビル5階

TEL 03(6809)4001

FAX 03(6809)4002

ホームページ：<http://www.kazenokokai.or.jp/>

e-mail：[kazenoko@kazenokokai.or.jp](mailto:kazenoko@kazenokokai.or.jp)

発行人：障害者団体定期刊行物協会

東京都世田谷区砧6-26-21